

大和インベスター・リレーションズ株式会社
 〒104 - 0031 東京都中央区京橋 1-2-1
 大和八重洲ビル
 Tel 03-5555-4111(代表) Fax 03-5202-2020

「2022年インターネットIR表彰」を公表

大和インベスター・リレーションズ株式会社(東京都中央区 社長:鈴木 潤 以下、「大和IR」)は、上場企業のIRサイトを独自の基準で評価・採点し、特に優秀なIRサイトを構築し、情報開示ならびにコミュニケーション活動で有効に活用している 155 社を以下の通り、受賞企業として選定いたしました。

2022 年評価基準の策定においては、金融審議会「ディスクロージャーワーキング・グループ」での議論や、昨今における IR サイトのトレンド等を考慮し、採点項目の見直しを行いました。

また、近年のサステナビリティに対する投資家の注目の高まりを受け、昨年より、部門賞として新設した「サステナビリティ部門」では、上記の 155 社を対象に採点を行った結果、本年は 29 社を同部門の受賞企業として選定しております。

なお、2023年1月17日(火)に表彰式を開催し、受賞企業には記念品を贈呈させていただきます。
内容につきましては、別途ご案内申し上げます。



◆ 2022年インターネットIR 最優秀賞:10社 (※証券コード順)

双日 (2768)
 TIS (3626)
 日本ペイントホールディングス (4612)
 ミネベアミツミ (6479)
 伊藤忠商事 (8001)
 加賀電子 (8154)
 SOMPOホールディングス (8630)
 MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス (8725)
 東京海上ホールディングス (8766)
 ソフトバンク (9434)



◆ 2022年インターネットIR 優秀賞:12社 (※証券コード順)

INPEX (1605)	日産車体 (7222)
東急不動産ホールディングス (3289)	リンテック (7966)
中外製薬 (4519)	三井物産 (8031)
コニカミノルタ (4902)	アコム (8572)
日本電気 (6701)	KDDI (9433)
コプロ・ホールディングス (7059)	ベネッセホールディングス (9783)





◆ 2022年インターネットIR 優良賞:133社 (※証券コード順)



- ニッスイ (1332)
日揮ホールディングス (1963)
パーソルホールディングス (2181)
明治ホールディングス (2269)
アサヒグループホールディングス (2502)
麒麟ホールディングス (2503)
ダイドールグループホールディングス (2590)
不二製油グループ本社 (2607)
味の素 (2802)
カゴメ (2811)
ニチレイ (2871)
日清食品ホールディングス (2897)
ヒューリック (3003)
J. フロント リテイリング (3086)
三越伊勢丹ホールディングス (3099)
東洋紡 (3101)
トヨタ紡織 (3116)
マーケットエンタープライズ (3135)
すかいらくホールディングス (3197)
野村不動産ホールディングス (3231)
セブン&アイホールディングス (3382)
帝人 (3401)
東レ (3402)
クラレ (3405)
ブロードリーフ (3673)
インターネットイニシアティブ (3774)
アバントグループ (3836)
昭和電工 (4004)
住友化学 (4005)
日産化学 (4021)
三菱ガス化学 (4182)
三井化学 (4183)
三菱ケミカルグループ (4188)
ダイセル (4202)
積水化学工業 (4204)
電通グループ (4324)
花王 (4452)
住友ファーマ (4506)
日本新薬 (4516)
参天製薬 (4536)
第一三共 (4568)
DIC (4631)
オリエンタルランド (4661)
ダスキン (4665)
クレスコ (4674)
伊藤忠テクノソリューションズ (4739)
サイバーエージェント (4751)
富士フイルムホールディングス (4901)
資生堂 (4911)
ライオン (4912)
デクセリアルズ (4980)
ENEOSホールディングス (5020)
日本板硝子 (5202)
日本製鉄 (5401)
JFEホールディングス (5411)
三菱マテリアル (5711)
住友金属鉱山 (5713)
UACJ (5741)
古河電気工業 (5801)
三和ホールディングス (5929)
テクノプロホールディングス (6028)
ナブテスコ (6268)
日立建機 (6305)
荏原製作所 (6361)
栗田工業 (6370)
ブラザー工業 (6448)
セガサミーホールディングス (6460)
日立製作所 (6501)
東芝 (6502)
富士電機 (6504)
安川電機 (6506)
日総工産 (6569)
日本電産 (6594)
JVCケンウッド (6632)
オムロン (6645)
ジーエス・ユアサ コーポレーション (6674)
OKI (6703)
セイコーエプソン (6724)
TDK (6762)
日本光電工業 (6849)
アドバンテスト (6857)
シスメックス (6869)
太陽誘電 (6976)
三菱重工業 (7011)
かんぽ生命保険 (7181)
ゆうちょ銀行 (7182)
曙ブレーキ工業 (7238)
SUBARU (7270)
ヤマハ発動機 (7272)
パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス (7532)
ニコン (7731)
オリンパス (7733)
タムロン (7740)
リコー (7752)
シチズン時計 (7762)
大建工業 (7905)
ヤマハ (7951)
丸紅 (8002)
豊通商 (8015)
東京エレクトロン (8035)
住友商事 (8053)
三菱商事 (8058)
シナネンホールディングス (8132)
丸井グループ (8252)
あおぞら銀行 (8304)
三菱UFJフィナンシャル・グループ (8306)
りそなホールディングス (8308)
三井住友トラスト・ホールディングス (8309)



◆ 2022 年インターネットIR 優良賞:133 社 (※証券コード順)



三井住友フィナンシャルグループ (8316)
みずほフィナンシャルグループ (8411)
オリックス (8591)
野村ホールディングス (8604)
日本取引所グループ (8697)
第一生命ホールディングス (8750)
T&Dホールディングス (8795)
レオパレス21 (8848)
トーセイ (8923)
東急 (9005)
西武ホールディングス (9024)
ヤマトホールディングス (9064)
日立物流 (9086)

日本郵船 (9101)
商船三井 (9104)
川崎汽船 (9107)
SGホールディングス (9143)
日本航空 (9201)
ANAホールディングス (9202)
スカパーJSATホールディングス (9412)
日本電信電話 (9432)
東京ガス (9531)
カプコン (9697)
ファーストリテイリング (9983)
ソフトバンクグループ (9984)

*すべて株式会社表記を省略しております。
*株式会社大和証券グループ本社は選考から除外しております。



◆ 2022 年インターネットIR サステナビリティ部門
最優秀賞:3 社 (※証券コード順)



住友ファーマ (4506)
日本電気 (6701)
三井物産 (8031)



◆ 2022 年インターネットIR サステナビリティ部門
優秀賞:26 社 (※証券コード順)



INPEX (1605)
双日 (2768)
J. フロント リテイリング (3086)
トヨタ紡織 (3116)
野村不動産ホールディングス (3231)
昭和電工 (4004)
住友化学 (4005)
日産化学 (4021)
三井化学 (4183)
第一三共 (4568)
日本ペイントホールディングス (4612)
コニカミノルタ (4902)
資生堂 (4911)

JFEホールディングス (5411)
三和ホールディングス (5929)
栗田工業 (6370)
セイコーエプソン (6724)
TDK (6762)
ゆうちょ銀行 (7182)
リコー (7752)
伊藤忠商事 (8001)
丸紅 (8002)
東京エレクトロン (8035)
野村ホールディングス (8604)
SOMPOホールディングス (8630)
MS&ADインシュアランスグループホールディングス (8725)

*今回のサステナビリティ部門では「優良賞」を設けておりません。
*すべて株式会社表記を省略しております。
*株式会社大和証券グループ本社は選考から除外しております。

(ご参考) 2022年「インターネットIR表彰」の概要

企業IRはインターネットに包摂されるという『5T&C』*の考え方のもと、上場企業のホームページを調査・評価しています。審査・選定にあたり、青山学院大学名誉教授・東京都立大学特任教授の北川哲雄氏にご監修いただいております。

* Timely(適時性)、Transparent(透明性)、Traceable(追跡可能性)、Trustworthy(信頼性)、Total(包括性)+Communication(双方向性)

◆審査過程 <審査期間:2022年6月1日~10月31日>

■ 一次審査

6/1時点の上場企業 3,996社を対象に、インターネットIRにおいて基本となる下記項目について審査しました。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| ① 適時開示情報の掲載状況 | ⑥ 証券コード |
| ② 決算短信の掲載状況 | ⑦ サステナビリティ方針 |
| ③ 有価証券報告書の掲載状況 | ⑧ コーポレート・ガバナンスの掲載状況 |
| ④ 任意刊行物の掲載状況 | ⑨ 外国語サイトの設置 |
| ⑤ プレゼンテーション資料の掲載状況 | ⑩ お問い合わせ先の表示 |

■ 二次審査

一次審査を通過した 1,271社の日本語版IRサイトについて、定量的評価基準である大和IRスコアボード(日本語版)に基づいて詳細に評価しました。

【大和IRスコアボード(日本語版)の大項目】

① トップページ	トップページがサイト内の情報へ投資家を適切にナビゲートできているか。
② コーポレートプロフィール	自社のビジネスモデル、強み、業界環境などを説明しているか。
③ 経営方針・計画	IRに対する基本的な考え方、方針、体制等ならびに事業計画や経営戦略が説明されているか。
④ サステナビリティ	法制度やトレンドを意識し、対話に必要なESG情報を提供できているか。
⑤ 株式・株価情報	株式情報、株主還元情報など投資に必要な情報を提供できているか。
⑥ 財務データ	主要な財務情報の掲載や財務データなどを投資家の立場に立った内容及び方法で提供しているか。
⑦ IRライブラリー	IRに関連する資料が、十分な種類、量、アーカイブで提供されているか。
⑧ プレゼンテーション	すべての投資家に公平な情報伝達を図るべく、IRイベントに関する情報を十分に掲載しているか。
⑨ サイト使用時の留意事項	投資家が利用するにあたって、IRサイトとしての必要な注意がなされているか。
⑩ コンタクト	投資家とのコミュニケーションを図るため、双方向性を意識したサイト運営がなされているか。
⑪ ユーザビリティ	ユーザビリティの向上が図られているか。
⑫ ICT利活用	IT技術及び新たなデバイスへの対応ができているか。

■ 最終審査(英文審査)

日本語版の評価点が65点以上の296社の英語版IRサイトについて、日本語版と同様に開示すべき共通項目に下記の英語版独自評価項目を加え、詳細な評価を実施しました。この英語版の評価点と二次審査における日本語版の評価点を日本語版:英語版=5:5の比率で統合し、総合評価点を算定しました。

【英語版独自評価項目の主なポイント】

- ① 英文のクオリティ
- ② 日本語と英語の開示情報量の公平性
- ③ 日本語と英語の開示タイミングの公平性

なお、英文のクオリティに関する審査においては、ジ・アイアール・コーポレーション株式会社(東京都港区)にご協力いただいております。

◆受賞企業選定基準と選定方法

- ◎ 総合評価点が90点以上の企業を「最優秀賞」候補として選定。
- ◎ 総合評価点が85点以上の企業を「優秀賞」候補として選定。
- ◎ 総合評価点が70点以上の企業を「優良賞」候補として選定。

上記総合評価点をベースにインターネットIR表彰選定委員会にて表彰企業を選定しております。

■ サステナビリティ部門

今回は、優良賞以上を獲得した 155 社を対象に採点を実施しました。

【サステナビリティ部門の大項目】

① トップページ	トップページがサイト内の情報へ投資家を適切にナビゲートできているか。
② 全体方針	サステナビリティに関する基本的な考え方、方針、体制等、ならびに重要課題が説明されているか。
③ 環境	気候変動等の環境に対する社会課題への考え方、方針、体制、定量的なデータ等が説明されているか。
④ 社会	各ステークホルダーに対する社会課題への考え方、方針、体制、定量的なデータ等が説明されているか。
⑤ ガバナンス	コーポレート・ガバナンスに対する社会課題への考え方、方針、体制、定量的なデータ等が説明されているか。
⑥ サポート	企業のサステナビリティに対するサポート情報として、各種資料やイニシアチブ等が説明されているか。

◆サステナビリティ部門の受賞企業選定基準と選定方法

- ◎ 総合評価点が 90 点以上の企業を「最優秀賞」候補として選定。
 - ◎ 総合評価点が 80 点以上の企業を「優秀賞」候補として選定。
- 上記総合評価点をベースにインターネットIR表彰選定委員会にて表彰企業を選定しております。

○ 北川哲雄氏 略歴

青山学院大学名誉教授・東京都立大学特任教授

- ◆ 早稲田大学商学部卒業、同大学院修士を経て、中央大学大学院博士課程修了(経済学博士)。
- ◆ 1981 年以来、野村総合研究所、モルガン銀行(現 JPモルガンアセットマネジメント)等でリサーチャー、アナリスト、調査部長に従事した後、2005 年より青山学院大学教授、2019 年より現職。
- ◆ 専門は「コーポレート・コミュニケーション」「コーポレート・ガバナンス」「ファイナンシャル・レポーティング」。
- ◆ 現在の主な社会的活動として環境省『ESGファイナンスアワードジャパン』審査委員長、経済産業省『非財務情報の開示指針研究会』座長、一般社団法人『ESG情報開示研究会』代表理事を務める。
- ◆ 最近(2019 年以降)の論文・著書・監訳として
 - ① 「ESG投資の隆盛化とサステナビリティ・ブルー」(運輸と経済)2021 年
 - ② 「ESGカオスの中で企業は如何に情報開示を進めるべきか」(日経研月報)2021 年
 - ③ 『コーポレートガバナンス・コードの実践 再改訂版』(分担執筆、武井一浩他、日経 BP 社)2021 年
 - ④ 『社会を変えるインパクト投資』(監訳:ベロニカ・ビッチ他著、同文館出版)2021 年
 - ⑤ 『バックキャスト思考とSDGs/ESG投資』(編著、同文館出版)2019 年がある

○ ジェ・アイアール・コーポレーション株式会社概要

- ◆ 1980 年 2 月設立。40 年以上のIR支援の知見と経験を発揮し、統合報告書に不可欠な、きめ細かなお客さまサポートを社内一貫制作体制で実現。
- ◆ 冊子・Webの制作工程すべてを社内で行う一貫制作体制を活かし、お客さまのリモートワークをIRCがハブとなり、完全サポート。
- ◆ とくにネイティブスタッフ(正社員)で構成されるライティング・エディティング セクションによる、質の高い英文作成、校閲、校正に定評。
- ◆ 東証一部上場企業を中心におよそ 450 社、制作したアニュアル レポートの数は 2,200 冊以上にのぼる豊富な実績。
- ◆ 直近では、『初めての統合報告書』制作支援で実績多数。
- ◆ 日経統合報告書アワード(旧 日経アニュアルレポートアワード)、WICIジャパン統合報告優良企業賞で受賞歴多数。

大和IRは、資本市場に幅広い専門分野を持つ大和証券グループのネットワークを活かし、上場企業・上場予定企業のIRを総合的にサポートしています

以上

【お問い合わせ先】 大和インベスター・リレーションズ株式会社
インターネットIR 事務局 堂下 (電話:03-5555-4111 E-mail:biz_dev@daiwair.co.jp)